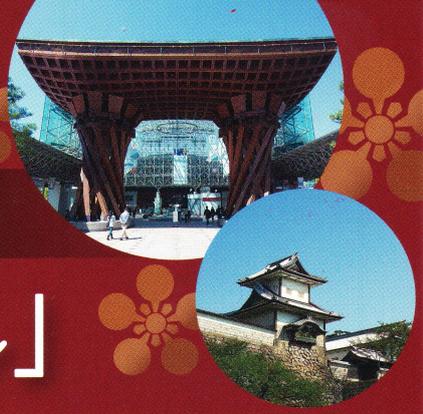




11月15日(日) 開催
 応援の合間に金沢体験

応援者おもてなしスポット

「ちょっとよるまっし」



- お茶や焼き芋などのふるまい、金沢らしさの体験プログラム
- 寺町・尾張町・丸の内・尾山町の市内7か所に設置します!

どなたでも ご利用無料

「ちょっとよるまっし」ガイド

金沢人が「手づくりのおもてなし」

「ちょっとよるまっし」は、沿道の応援者、観光客の方、ボランティアの方々、地域の方々など、金沢マラソンに関わるすべてのみなさんをおもてなしするスポットです。それぞれのスポットでは、お茶が飲めるスペースや、金沢らしさを体験できるプログラム、お抹茶や焼き芋のふるまいなどをご用意しています。

尾張町エリア / 橋場町交差点そば!

- 1 金沢文芸館**
- ◎金沢の工芸・民話を紙芝居で紹介
 - ◎飲み物のふるまい



金沢市尾張町 1-7-10
 TEL (076) 263-2444
 開催時間 10:00 ~ 15:00
 運営担当: かなざわ紙芝居倶楽部

尾張町エリア

- 2 柳宗理記念デザイン研究所**
- ◎水引であわじ結びの小物づくり
 - ◎折り紙でのし袋の折り型の体験
 - ◎飲み物のふるまい



金沢市尾張町 2-12-1
 TEL (076) 201-8003
 開催時間 (ふるまい) 8:30 ~ 15:00
 (体験) 9:30 ~ 15:00
 運営担当: かなざわご近所コラボプロジェクト

尾張町エリア

- 3 尾張町町民文化館**
- ◎金沢の歴史をスライドで紹介
 - ◎昔の行員に扮装体験
 - ◎飲み物のふるまい



金沢市尾張町 1-11-8
 TEL (076) 222-7670
 開催時間 8:30 ~ 15:00
 運営担当: 尾張町商店街振興組合、コミュニティ人見橋

丸の内エリア

- 5 黒門前緑地 (旧高峰家・旧検事正官舎)**
- ◎お抹茶の体験
 - ◎高峰譲吉ゆかりの茶室を見学
 - ◎日本庭園を見学



金沢市丸の内 34-1
 TEL (076) 221-1260
 開催時間 9:00 ~ 15:00
 運営担当: キモノジャック石川



尾張町エリア

- 4 尾張町老舗交流館**
- ◎金沢の歴史紹介と金沢弁で交流
 - ◎手づくりのおやつ「ご近所スイーツ」
 - ◎飲み物のふるまい



金沢市尾張町 1-11-11
 TEL (076) 234-6666
 開催時間 8:30 ~ 15:00
 運営担当: かなざわご近所コラボプロジェクト

尾山町エリア

- 6 喫茶メルツバウ**
- ◎「ちょっとよるまっし」総合案内所
 - ◎飲み物のふるまい



金沢市尾山町1-25 青山ビル1F
 TEL (076) 255-3036
 運営時間 8:00 ~ 14:00
 運営担当: かなざわご近所コラボプロジェクト

寺町エリア

- 7 大蓮山 妙法寺**
- ◎落ち葉を集めて 焼き芋ふるまい
 - ◎金沢の昔遊び 旗源平の体験
 - ◎飲み物のふるまい



金沢市寺町 4-2-6
 TEL (076) 242-0949
 開催時間 8:30 ~ 14:00
 運営担当: 寺町台寺活協議会、子育て支援さくらっこ



主催: 金沢マラソン組織委員会、かなざわご近所コラボプロジェクト

「ちょっとよるまっし」は、金沢市とかなざわご近所コラボプロジェクトによる「協働のまちづくりパートナーシップ・コンペ採択事業 (平成27年度)」です。

◎金沢市市民局 金沢マラソン推進課 (金沢マラソン組織委員会事務局)
 金沢市柿木 1-1 TEL (076) 220-2726

◎かなざわご近所コラボプロジェクト事務局
 金沢市千日町 2-13 TEL (076) 241-0202



「ちょっとよるまっし」スポットについて

❁ 金沢文芸館

金沢の文芸活動の拠点として、創作への活力と意欲の沸きたつ空間を創出し、創作者の交流の場、学びの場をめざしています。「金沢五木寛之文庫」が常設されています。

❁ 尾張町町民文化館

1907年(明治40年)に金沢貯蓄銀行として建設。外観は黒漆喰仕上げの塗籠土蔵造り、腰部に赤戸室石を積込み、内部は白漆喰仕上げの和洋折衷の様式美。旧窓口や旧頭取室が当時を偲ばせてくれます。

❁ 黒門前緑地(旧高峰家・旧検事正官舎)

金沢地方検察庁検事正官舎の敷地を官舎の一部と屋敷構えを保存。アドレナリン、タカジアスターゼで世界的に知られる高峰譲吉博士の生家の一部を移築し、緑地として整備されました。

❁ 大蓮山 妙法寺

1573年(天正元年)開基。尾張、荒子から越前府中、能登府中、金沢尾張町と移り、1615年(元和元年)、現在地に伽藍を構えました。境内のドウダンツツジは他に類をみない大きさで金沢市天然記念物。紅葉は11月中旬が見頃。

❁ 柳宗理記念デザイン研究所

柳宗理は戦後の日本を代表する工業デザイナー。生活用品から大型公共建造物まで手掛ける傍ら、金沢美術工芸大学で約50年にわたり教鞭をとりました。寄託資料を基に当施設が設立されました。

❁ 尾張町老舗交流館

旧商家を復元した大正浪漫の建物です。代々引き継がれ、積み重ねられて来た加賀・金沢に伝わる老舗の歴史的資産と「こころ粋」を活用した情報発信の機能を備えています。

❁ 喫茶メルツバウ

尾山神社前の通りにあるレトロな喫茶店。おしゃれなカフェが増えてきた金沢で、昔からあった喫茶店が復活し、がんばっています。



かなざわ豆知識

❁ 寺町寺院群

江戸時代、前田家は城下の寺院を移転させ三寺院群(寺町寺院群・卯辰山山麓寺院群・小立野寺院群)を形成。その一つが犀川南岸に集められた寺町寺院群で、70余りの寺院が集積し、金沢城の西の守りを担っていたともいわれています。寺々で撞かれる鐘の音は「日本の音風景百選」に選定されています。

❁ 高峰譲吉

高峰譲吉は36歳の時にアメリカに渡り、タカジアスターゼとアドレナリンという二つの薬を発明した化学者です。バイオテクノロジーの基本となる酵素とホルモンの分野で世界初を成し遂げ、「近代バイオテクノロジーの父」と呼ばれています。また、日露戦争の頃よりアメリカで日米親善に尽力し、ワシントンのポトマック河畔の桜を企画し、資金を援助したことで有名です。

❁ 茶の湯と金沢

茶の湯は、戦国時代は武士の嗜みとされ、前田利家も茶道の大成者の千利休や織田有楽斎に学び、加賀藩に茶道の文化を定着させました。三代藩主・前田利常が裏千家の千宗室・仙叟(せんそうしつ・せんそう)を指南として招いたことで、職人や町人までお茶の作法を身につけるほどにまで広がりました。現在でも茶道が盛んで、数多くの茶会が開催されています。

❁ 高峰賞

金沢が生んだ偉大な科学者であり国際人である高峰譲吉博士の功績を顕彰し、併せて科学教育の振興を図ることを目的として、昭和25年春に設立。金沢市内の各中学校(国・公・私立)に在籍し、特に理科、数学に興味・関心が強く、かつ優秀であり研究意欲に富む生徒に授与されます。

運営団体プロフィール

市内のまちづくり団体のメンバーが得意分野を持ち寄り、連携しながら運営しています。

❁ かなざわ紙芝居倶楽部

世界一小さな舞台、そして、日本が誇る伝統芸能である紙芝居を通して、石川県・金沢市の魅力を掘り起こし、オリジナルの紙芝居で発信します。

❁ コミュニティ人見橋

源太郎川にかかる人見橋(ひとみばし)界隈で生活する地域住民と歴史・生活・健康・防災等を話し合っています。歴史の調査や交流を通して、まちづくりと一緒に考えています。

❁ 寺町台寺活協議会

2014年7月に金沢市寺町の有志4寺4僧で発足。宗派を超えて取り組むことで寺離れの風潮に歯止めをかけ、地域の活性化という目標に取り組んでいます。

❁ かなざわご近所コラボプロジェクト

金沢市の中村町・白菊町・千日町界隈を拠点に、昔ながらの「ご近所さん付き合い」を現代風にアレンジし、地域活性化、賑わい創出、地縁の再構築、ふるさとづくりに取り組んでいます。金沢市との協働事業や市内および全国のまちづくり団体とのコラボ活動も行っています。

❁ 尾張町商店街振興組合

尾張町は金沢最古の市「山崎村凹市(くぼいち)」が開かれ、前田利家が尾張名古屋から連れて来た商人が住んだ町とされています。「商人は、飽きずに商いする」これが尾張町の老舗を育て、現在の尾張町商店街を形づくっています。

❁ キモノジャック石川

京都で生まれた、着物を着て楽しむイベントの石川版。「街を着物で埋め尽くそう！」と活動。着物を着て指定の日時に集まり、一緒にイベントをつくります。

❁ 特定非営利活動法人 子育て支援さくらっこ

子どもたちの安全で健全な育成をめざし、地域の世代間交流を積極的に図り、地域の子育てを支援するボランティア団体です。

